

第1章-1 古代オリエント世界

※ Orient = 太陽の昇る所 (ラテン語)

1. エジプト文明

※古代ギリシアの歴史家ヘロドトスの言葉「エジプトはナイルの賜物」 『歴史』第2巻4節

- ナイル川 ……7～10月の定期的増水により上流から沃土が供給されるはやくから多くの村落(ノモス)が形成される
- 閉鎖的地形……外敵が侵入しにくく、単一民族による統一王国が続く

<歴史>

BC.2850頃、メネス王による上下エジプト統一

※王() ……太陽神ラーの化身として神権政治

▶古王国時代 ……27～22c.BC. 首都() (現カイロ付近、河口近い)

() ……王の埋葬・祭儀の施設
巨大なものは古王国時代にのみ建設

※ギザの3大ピラミッド

第4王朝第2代()王(最大)、第4代カフラー王、第7代メンカウラー王

▶中王国時代 ……22～18c.BC. 首都() (上流へ)

BC.17世紀 地中海東岸から遊牧民()の侵入を受ける

▶新王国時代 ……16～11c.BC. 首都テーベ、ヒクソス撃退し独立回復

BC.14世紀 ()の宗教改革

従来のアメン=ラー信仰を禁止し、()神1神のみの信仰へ
テーベから()へ遷都
新しい写実的文化()美術
妃ネフェルティティ(ミタンニ王国出身?)の胸像

→王の死後、子の()王の時にすべてもとに戻される
9才で即位、18才で死去。王陵の谷から王墓発掘。そのミイラに黄金のマスク。

最後の盛期……ラメス2世(1290-1224BC、60年の治世、100人の子女!)

1286BC頃、地中海東岸カデッシュでヒッタイトと戦いその南進阻止

<文化>

・文字 …… エジプト象形文字は次の3種類からなる(①→②→③と簡略化)

①. () (神聖文字)、②. ヒエラティック、③. デモティック
(神官文字) (民衆文字)

※1822年、()が、()を解読

(↑ナポレオン軍が1799年に発掘)
プトレマイオス5世碑文(BC.196)……上段ヒエログリフ、中段デモティック、下段ギリシア文字

・筆記用具…… (→paperの語源)

・暦 …… () →ヨーロッパの「西暦」
カエサルがエジプトからローマにもたらす(ユリウス暦)
→1582年、グレゴリ暦に改訂

・数の数え方 ()

・測量術…… 洪水後の区画整理のため発達 →ギリシアで幾何学に発展

・宗教 …… 太陽神()、首都テーベの守護神()の信仰

「()」……死者の生前の善行をパピルスに記し墓に副葬したもの
死後を司るオシリス神に提出。有罪とされると魂が復活できない。

2. メソポタミア文明

Mesopotamia……ギリシア語の mesos (間) + potamos (川) = 川の間の地

ペルシア湾に注ぐ()川・()川 (現イラク)
最古の農耕遺跡ジャルモ遺跡もある

※「()」(Fertile Crescent、米プレステッドが命名)
メソポタミア+地中海東岸シリア・パレスチナまで

開放的な地形のため、諸民族入り乱れて複雑な歴史(←「バベルの塔」伝説)
メソポタミア～アラビア……セム語族
北・東の山岳地帯……インド=ヨーロッパ語族

<文化>

・文字 …… () ……粘土板に刻む
シュメール人による発明当初は表意文字(絵文字)
→のちの諸民族が表音文字として使用

※1846年、() (英) がベヒストゥーン碑文を解読
(↑ダレイオス1世の業績を記したもの)

・数の数え方 ()

・暦 …… ()
月の満ち欠けを基準 ※純粋太陰暦はイスラム暦のみ(1年=354日)
ただしそれだけでは季節がずれるため「閏年」も発明(=太陰太陽暦)
→アジア諸地域に広まる

・七曜制…… 旧約聖書「創世記」伝説の舞台がメソポタミアである証

<歴史>

(1). ()人(民族系統不明)
BC.2700頃までに、()、()などの都市国家を建設
王・神官・官吏・戦士を中心とする階級社会
ジググラト(聖塔)……神殿基盤遺跡

(2). ()人(セム語族)
BC.24世紀、サルゴン王に率いられシュメール都市を征服

(3). ()人(セム語族)
BC.19世紀、()第一王朝
第6代()王(BC.18c)……全メソポタミア支配
「()」制定 全282条
刑法……復讐法の原則、身分差の刑罰
("目には目を、歯には歯を")

(4). ()語族の諸民族が中央アジアから大移動(BC15世紀を中心とした時期)
→インド、→ギリシア

- ①. ()人(インド・ヨーロッパ語族)……アナトリア(小アジア)に建国
史上初めて鉄の武器を使用、馬にひかせた戦車
バビロン第一王朝を滅ぼす →エジプト新王国とシリアで戦う
- ②. ()人(民族系統不明)……メソポタミア南部に建国
- ③. ()王国……メソポタミア北部
(印欧系の王の下でフルリ人が建国した、とされるが異説あり)

以後、数世紀にわたって混乱続く

3. 地中海東岸（シリア・パレスチナ地方）

エジプトとメソポタミアを結ぶ通商路、地中海貿易の拠点
→ BC.1500 年頃からカナン人（セム語族）の活動

↓
BC.13 世紀頃、エジプト・ヒッタイトの両勢力が後退し、下のセム系 3 民族が活動

- ▶ _____ ……中心都市 _____
内陸交易に活躍……アラム語は古代オリエント世界の国際商業語
アラム文字は西・中央アジアの諸民族の文字の起源
- ▶ _____ ……中心都市 _____、 _____
海上交易に活躍……主要輸出品は“レバノン杉” → 乱伐で砂漠化
地中海西部に植民地建設……その中心 _____ (北アフリカ現チュニジア)
フェニキア文字……カナン人の表音文字を線文字化
ギリシア人に伝える → _____ の起源

- ▶ _____ (自らはイスラエル人と称する。“ユダヤ人”)
BC.1500 頃、パレスチナ定住。一部はエジプトへ → 新王国の圧政に苦しむ
↓
BC.13c. “ _____ ” ……預言者 _____ に率いられエジプト脱出
→ この時、唯一神 _____ から “ _____ ” を授かる
- BC.1000 頃 ヘブライ王国建国（初代王サウル）
→ 第 2 代 _____、第 3 代 _____ の時に栄える

BC.922 ヘブライ王国南北分裂

北…… _____ 王国 → BC.722 _____ に滅ぼされる
南…… _____ 王国 (サルゴン 2 世)

↓

BC.586 “ _____ ”
ユダ王国が _____ に滅ぼされ、民衆はバビロンに強制連行

BC.538 アケメネス朝ペルシアにより解放され帰国
→ _____ 教の確立……首都 _____ に神殿再建
特徴……一神教、偶像崇拜禁止 (→キリスト教・イスラム教)
『聖書 (キリスト教の _____)』の編纂、救世主 (_____) 信仰

4. オリент統一

- (1). _____ (セム語族)
メソポタミア北部におこる → ミタンニ王国に服属
ヒッタイトから鉄の武器と戦車を学ぶ
- BC.7 世紀前半 全オリエント統一、首都 _____
アッシュールバニパル王 (BC.669-626)
ニネヴェに大図書館設立……19 世紀半に発見、「ギルガメシュ叙事詩」
支配下諸民族を武力で抑圧 (洪水・箱船伝説を含む)
- ↓
BC.612 帝国 4 分裂
- ┌
 - ・エジプト……第 26 王朝
 - ・ _____ (セム語族、カルデア人) ……メソポタミア支配
バビロン捕囚 (ネブカドネザル 2 世)
 - ・ _____ (印欧語族) ……小アジア、世界初の鑄造貨幣製造
 - ・ _____ (印欧語族) ……イラン高原

- (2). _____ 朝ペルシア
※ペルシア人……印欧語族イラン人のうち南部のペルシス地方の農耕民を指す
- BC.559 初代キュロス 2 世 (559-529)、メディア王国から独立、首都 _____ (行政中心)
- BC.525 第 2 代カンビセス (529-522)、エジプト征服し全オリエント統一

第 3 代 _____ (522-486BC)

- ・全国を 20 余の州に分け、知事 (_____) を派遣して統治
- ・“ _____ ” と呼ばれる監察官に各州を巡回させる
- ・“ _____ ” (スサ～サルデス間→ギリシア侵略へ)、駅伝制
- ・ _____ に大宮殿建築 (→アレクサンドロスの遠征軍により破壊)
- ・貨幣・文字の統一……楔形文字の完全な表音文字化 (ペルシア文字)
- ・支配下諸民族の宗教や慣習を尊重する柔軟な支配 → 200 年間の統一維持

- ◎その後の歴史……ギリシア世界との長年の対立
BC.500-479 ギリシア侵略 (いわゆる「ペルシア戦争」)
ダレイオス 1 世、クセルクセス 1 世 → 失敗
- BC.330 アレクサンドロス大王の遠征軍により滅亡
- ◎ペルシア人の宗教…… _____ 教……二元論的世界観
善=光明の神 _____ vs 悪=暗黒の神 _____ の戦い
・“最後の審判”で光明神の恩恵により楽園に入ることを願う
・光明神の象徴である「火」を拝む……拝火教

5. 古代イランの 2 王朝 (→ヘレニズムの後に授業)

アレクサンドロス大王死後、アジア部分はセレウコス朝シリア領に
→その後、アフガンに移住していたギリシア人がバクトリア王国建国 (255-139.BC)

↓

- (1). _____ 王国 (248.BC ~ AD.226) ……北部、遊牧イラン人
初代アルサケス……カスピ海東南 (ヘカトンピュロス) に建国
↑ 中国語の国名「安息」は彼の名に由来
- BC.2 世紀半ばにメソポタミア併合後、クテシフォンに遷都
- ◎ヘレニズム文化圏……ギリシア語、王の称号は「ギリシア人を愛するもの」

- (2). _____ 朝ペルシア (226-651) ……農耕イラン人 (ペルシア人)
初代アルデシール 1 世……首都 _____
- 第 2 代 _____ (241-72、「イラン人及び非イラン人の諸王の王」と称す)
260 年 ローマ皇帝ヴァレリアヌスを捕虜とする (エデッサの戦い)
- 5 世紀後半、 _____ の侵入を受ける
- 全盛期…… _____ (531-79)
突厥と結んでエフタルを滅ぼす。ビザンツ帝国とも有利に和平
- 642 年 _____ の戦い……イスラム勢力に敗北 (→ 651 年滅亡)
- ◎イラン民族文化の復興+ヘレニズム文化=国際的文化 (→シルクロード経由で中国・日本へ)
美術・工芸に関しては当時世界一 (特にガラス工芸)
- ゾロアスター教の国教化……教典「 _____ 」を編纂
- ローマで異端とされたネストリウス派キリスト教も広まる
- _____ の成立……ゾロアスター教、仏教、キリスト教の融合
国内では異端。北アフリカ、中央アジア (ウイグル) へ。
教父アウグスティヌス、アルビジョワ派など異端のキリスト教にも影響